

# 議会報告会報告書

|      |   |  |
|------|---|--|
| 開催日時 | 平成28年4月22日（金） 午後 7時00分～ 8時30分   |  |
| 開催場所 | 北下浦コミュニティセンター   |  |
| 出席議員 | 代表者   | 青木哲正   |
|      | 報告者   | 関沢敏行（予算、まち）、小幡沙央里（総務）、青木哲正（生環）、藤野英明（教福）、青木秀介（都整）、小林伸行（観光）、角井 基（100条） |
|      | 記録者   | 小林伸行（パソコン操作：渡辺光一）  |
| 参加人数 | 10 名  |  |
| 報告内容 | <p>（質問・回答）</p> <p>Q B B Qパークの件は何が問題なのか？</p> <p>A コンテナハウスが建築基準法違反となっており、違反を指摘した以降も営業していたことが問題。また、営業していた事業者が市長の支援者であったため市の対応が甘くなったのではないかと、との疑義が呈されたため調査するものだ。</p> <p>Q 100条委員会でも予算を新たに組んだそうだが、そんなことより他に重要なことがたくさんあるはずだ。他のことに予算使って取り組んでほしい。</p> <p>A 事実として、市長が誤りを認めて謝罪と発言訂正をしていれば、そもそも100条委員会を開くこともなかっただろう。疑義があるから調査するものだ。</p> <p>Q 市長をけなしてどうするのか。もっと高齢者のためにお金を使うべき。給食などではなく高齢者にお金を使うべき。今の親は過保護すぎる。昔は1人で7～8人も育てて、立派に育ったものだ。市がお金を使って取り組む課題ではない。</p> <p>A 貴重なご意見を承った。この国もこのまちも、最大の問題が人口減少だ。そういった面もあって、市長も子育て支援の事業に予算を組んでいる。</p> <p>Q 高齢化問題についての具体的な目に見える施策がわからない。子育て世代の結婚子育ての希望に応えると言うが何を叶えるかわからない。</p> <p>A 横須賀の高齢化対策は他市よりむしろ先んじている。地域包括支援システムやウォーキング/ラジオ体操などによる健康寿命の延伸をしている。無料の妊婦健診やこんにちは赤ちゃん事業も、エンディングプラン・サポート事業も、横須賀から広がったものだ。人生を一貫して支援していくということに、一つずつ取り組んでいる。</p> <p>（意見・要望等）</p> <p>北下浦海岸では、テトラポッドで離岸堤を築いたが砂が戻っていない。海岸沿いの土地は個人の持ち物とも聞くが、買い取って離岸堤まで埋め立ててはどうか。まちの活性化として、道の駅なども作って頂きたい。</p> |  |

横須賀市議会議長 様

平成28年 4月 26日

上記のとおり報告します。

代表者 青木哲正